

天橋立公園内の「船越の松」の伐採と2世松への継承について ～樹齢650年（推定）、天橋立の古名木～

府立天橋立公園にある命名松の一つ「船越の松」は、老齢による衰弱が見られ、過年度から延命処置を行ってきましたが、幹の根本の空洞化が著しく倒木の恐れがあることから、公園利用者、通行者の安全を確保するため伐採し、2世松を移植して世代を継承していくこととしましたのでお知らせします。

1 実施予定時期

令和7年2月26日（水）、27日（木）
2月28日（金）（予備日）

2 伐採に至る経緯

「船越の松」は老齢により倒木の恐れがあったため、過年度より安全対策を実施してきました。

- ・平成17年 ワイヤーによる引っ張り補強
- ・平成24年 H型鋼（150×150）による支柱設置
頭部の枝を伐採
- ・平成28年 樹木医により状況を経過観測
- ・令和6年 枝の一部が枯れているのを確認し、樹木医診断の上、これ以上の延命は難しく、倒木の恐れがあると判断



枯れ枝を確認



根本幹回りは補強している



空洞化が進んでいる。
(打音検査による確認)



船越の松のものと思われる
枯れ枝



枝の一部が枯れている

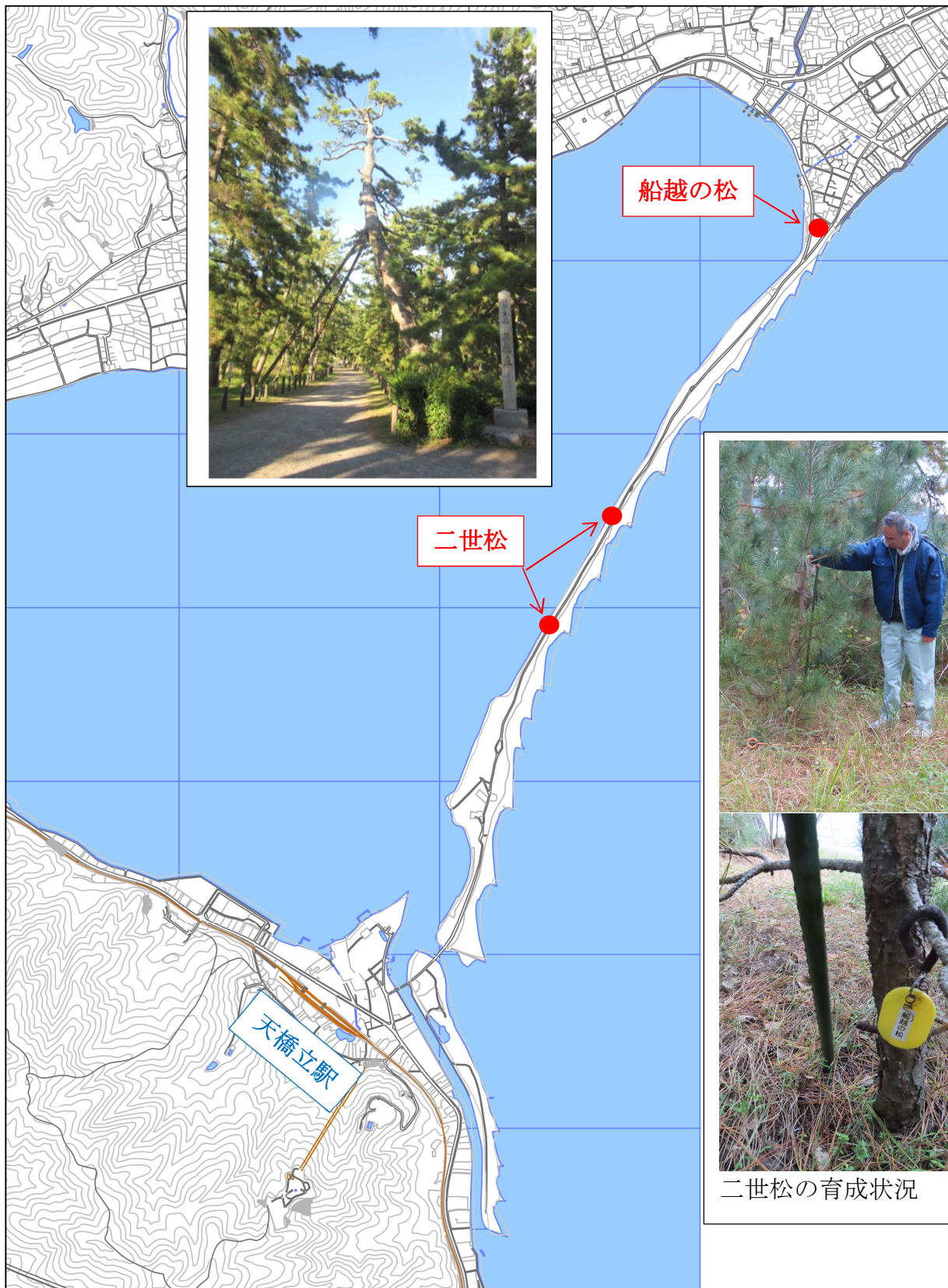


縦に亀裂も入っている

3 今後の予定

「船越の松」は、天橋立公園松並木景観保全委員会（学識経験者及び地元関係団体（天橋立を守る会、天橋立観光協会など）の代表で構成）のご指導の下、2世松を育成しており、伐採後これを現在の船越の松付近に移植し、新しい「船越の松」として世代を継承していきます。

（次頁あり）



「船越の松」：昔からこの地を「船越」と称している（この辺りを船が横断していたことがあったためと言われている）ことから命名された松

【本報道発表に関するお問合せ】

京都府丹後土木事務所施設保全課 課長 村野智志 係長 田中邦彦
TEL 0772-22-3245

